

博物館の事業

■調査研究活動

生物の進化、郷土の自然等について各学芸員が研究し、当館の研究報告や学会誌などに公表しています。



■資料収集活動

採集、寄贈、購入等により資料を収集し、系統的に収蔵庫に保管しています。登録された資料は資料集として公表しています。



■教育普及活動

常設展示のほか、特別企画展および企画展を開催します。

また、講座やワークショップ、解説会の開催や学校での出前授業、博物館見学ワークシート・ガイドブックなどの発行等を行っています。



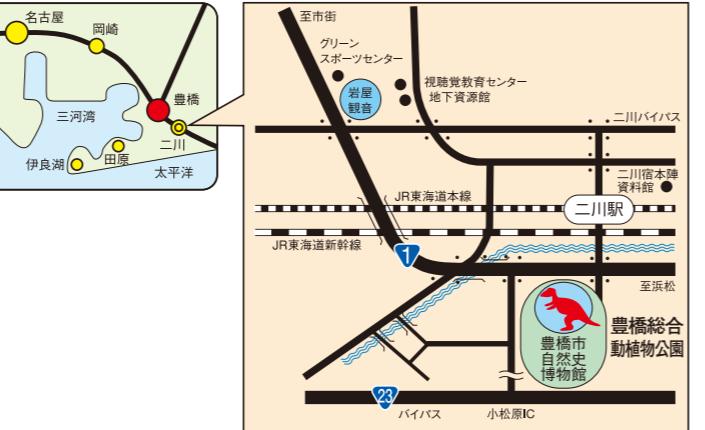
■石巻自然科学資料館

ハイキングなどで市民に親しまれている石巻山の中腹にある博物館の附属施設です。



ご利用案内

- 開館時間／午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)
※時期によって変更になる場合があります。
- 休館日／月曜日(月曜日が祝日・振替休日のときは翌平日)、12月29日～1月1日
- 総合動植物公園入園料／大人600円、小中学生100円
※ この公園内には博物館、動物園、植物園、遊園地があります。
- 大型映像・特別企画展／別途、観覧料が必要
- 交通／JR二川駅南口から総合動植物公園東門まで徒歩約6分
- 駐車場／1,900台(普通車200円、中型・大型車400円)



『おねがい』

- 展示物の模写をされる方は、事務室へお申し出ください。
- 展示室・通路での飲食、館内を含む園内の喫煙はご遠慮ください。
- 危険物や動物(盲導犬、介助犬を除く)を持ち込まないでください。
- 他の入館者の迷惑になることはやめましょう。

豊橋市自然史博物館

〒441-3147 豊橋市大岩町字大穴1-238
(豊橋総合動植物公園内)
TEL 0532-41-4747 FAX 0532-41-8020
<https://www.toyohaku.gr.jp/sizenshi/>

(2020.10)

豊橋市自然史博物館

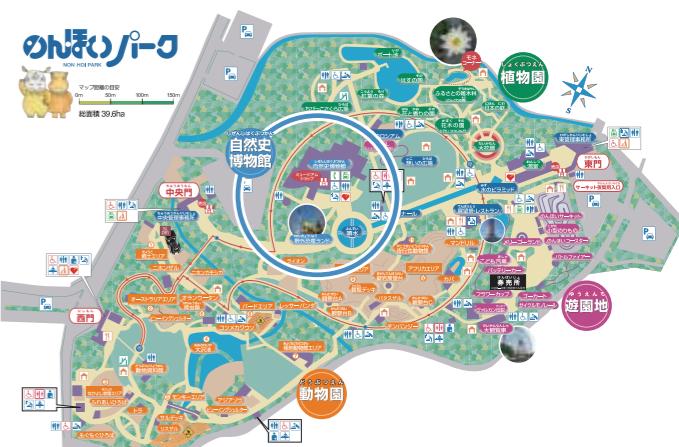
Toyohashi Museum of Natural History



ようこそ自然史博物館へ……



豊橋市自然史博物館は、生物の進化と郷土の自然史をテーマに、1988年5月に開館しました。生命の誕生から生物が陸上に進出した時代、恐竜の時代、哺乳類の時代、そしてヒトの時代までの生物の進化と郷土の自然をわかりやすく紹介しています。



豊橋市自然史博物館は、豊橋総合動植物公園 **「のんほいパーク」** の中にあります。豊橋総合動植物公園は、動物園ゾーン、植物園ゾーン、遊園地ゾーン、そして自然史博物館が一体になった、レクリエーションと学びの施設です。自然史博物館で生物の進化を学ぶと同時に、動物園ゾーンや植物園ゾーンでは現在の動植物の生き生きとした姿を観察することができます。

1 イントロホール

ふれて楽しむ化石壁では、各地質時代を代表する実物化石と石材を手でふれてじっくり観察することができます。



5 エドモントサウルス展示室

エドモントサウルス・アネクテンスの実物全身骨格やミイラ化石などを展示しています。



7 ガラパゴス物語展示室

「進化論の島」として有名なガラパゴス諸島のジオラマがあり、進化論について紹介しています。



2 自然史スクエア

ティラノサウルスとトリケラトプスの全身骨格が白亜紀の世界を演出します。



3 古生代展示室

地球誕生から恐竜の出現直前までの歴史を、最新のデータと豊富な標本、クイズやゲームでわかりやすく紹介しています。

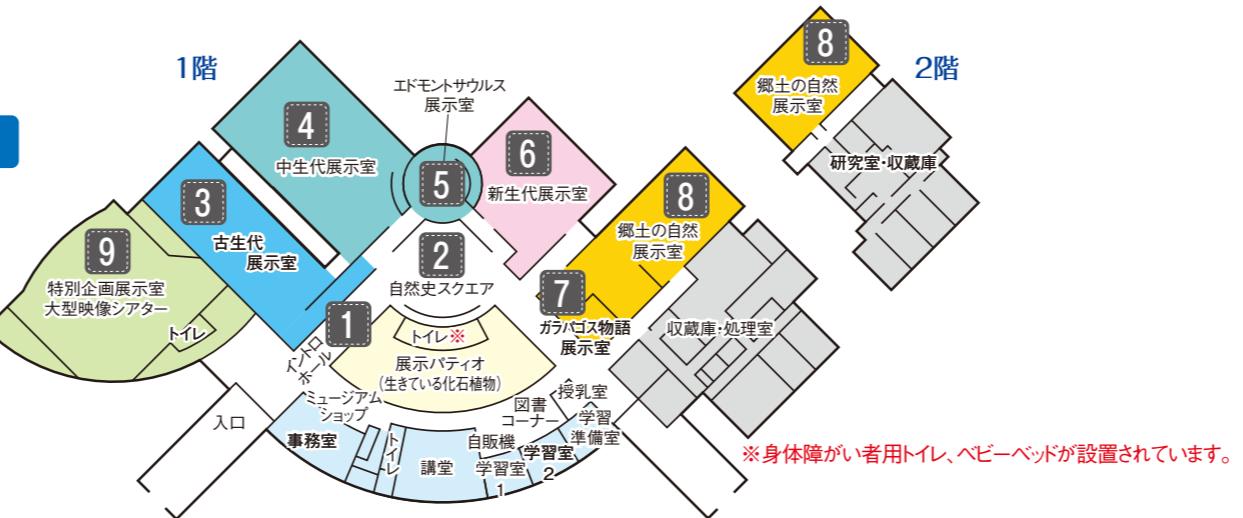


4 中生代展示室

ユアンモウサウルスをはじめ、アロサウルス、ステゴサウルスなど恐竜の全身骨格標本、アンモナイトなどの多くの実物標本やジオラマで、恐竜の時代と呼ばれる中生代の様子を紹介しています。



館内マップ



6 新生代展示室

ケナガマンモスの全身骨格や多数の実物化石など、600点以上の標本や壁面大型映像、キネクトシステムやモーフィングシステムといった最新映像技術などを用いて、新生代を紹介しています。



8 郷土の自然展示室

郷土の地質や動植物を、豊富な実物標本とジオラマで紹介しています。



9 特別企画展示室・大型映像シアター

特別企画展の開催、大型映像の上映、学会、シンポジウム等の開催に利用されます。



野外恐竜ランド

自然史博物館入口前の広場にはブラキオサウルスの親子をはじめ、10体の恐竜模型があります。

